初秋の京都東山・歴史探訪のご報告

実施日2017年9月29日

爽やかな晴天に恵まれた初秋の京都東山。京都一週トレイルと並行して、蹴上から琵琶湖疎水事業の跡地や記念館を訪ね、その後南禅寺から永観堂、そして哲学の道周辺の歴史ある寺院を巡りました。特に法然院の森のセンターでは、環境学習活動を行う市民グループ（フィールドソアイエティー）の活動を学ぶことが出来ました。（参加者 28 名）

【行程】

①蹴上付近の広場にてトレイル組と一緒に準備体操。（9：40 出発）⇒ ②インクラインに沿って「旅館辻野跡」を左に見ながら、「ねじりまんぼ」へ歩く。⇒ ③「ねじりまんぼ」をくぐって、左に「金地院」⇒ ④「順正書院跡」を右に見て、「琵琶湖疎水記念館」を見学。⇒ ⑤折り返して「南禅寺」に向かう。⇒ ⑥「野村美術館」を左に見て「永観堂」に向かう。⇒⑦若王子神社に移動し昼食休憩。（11：35～12：30）⇒ ⑧哲学の道に入り、途中「大豊神社」に立ち寄る。⇒ ⑨哲学の道から右折し「霊艦寺」「安楽寺」に立ち寄りながら「法然院」に向かう。⇒ ⑩法然院「森のセンター」を訪ねて見学と境内ツアー。ここでトレイル組と合流、浄土寺橋を経て出町柳まで歩いて解散。（15：００頃）

琵琶湖疎水記念館では疏水事業が京都復興のシンボルだったことを学びました。

少し早いですが紅葉の永観堂を訪ねました。永観律師の「永観」は「ようかん」と読みます。

哲学の道の入り口付近にある茶寮。静かで落ち着いた雰囲気でした。

コマ犬ならぬコマ鼠のある大豊神社。小さいけれど雰囲気の良い神社でした。

「自然はともだち」をテーマにした法然院森のセンター前で記念撮影。

NPO フィールドソサイエティ代表の久山さんによる法然院の境内散策ツアーです。

紅葉が始まった琵琶湖疎水と永観堂を経て熊野若王寺神社から法然院に至る散策では京都の美しさと歴史を十分味わうことが出来ました。また法然院森のセンターでは環境学習や環境保全の取組み、谷崎潤一郎など著名人の眠るお墓を訪ねることが出来ました。

（3 班　柳田　誠二）

桜・紅葉の頃には人でにぎわう哲学の道もゆったりと寺院を歩くことが出来ました。少し道からそれた若王寺神社や大豊神社には初めてという人もいて一味違ったかも。何より法然院森のセンターの活動説明や熱心なガイドはとても良かったです。

（5 班　東條　田鶴子）

京都が衰退の危機を脱するために琵琶湖疎水事業が行われたという歴史、法然院の山門の階段を上がってそこが現世と来世の境とされていること。歴史と自然あふれる京都が今日あるのは、代々知恵を出し合い引き継いできた先人のおかげだと思いました。

（6 班　月本　好子）